

江戸表具研究会『表粋会』 企画

掛軸の未来展 2024

会期 2024年10月22日(火)～27日(日)

- 開場時間は、11:00～17:00を予定
- 搬入・設営は21日(月)、搬出・撤去は27日(日)の会期終了後を予定

会場 銀座大黒屋ギャラリー「6階ギャラリー」

〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目7-6

主催 江戸表具研究会「表粋会」

後援 一般社団法人 東京表具経師内装文化協会

協賛 一般財団法人 世界紙文化遺産支援財団 紙守

協力 株式会社マスミ東京

お問合せ hyousuikai@gmail.com 【未来展担当：武笠(むかさ)】



目次

1.	趣旨	P.2
2.	企画概要	P.3～6
	表粋会について	
	募集作品テーマ	
	展覧会名称	
	展覧会場・会期	
	応募資格	
	応募作品	
	応募締切	
	作品提出締切	
	審査	
	出展料	
	作品の所有権について	
	掛軸の販売	
	表粋会賞(仮称)の選定	
	作品選考過程について	
	応募フォーム	
3.	応募方法	P.7
4.	作品の要件	P.8
	作品・大きさ	
	重要事項	
5.	掛軸について	P.9
	作品と掛軸の関係	
	掛軸の構造・製法	
6.	軸装可能な絵	P.10
7.	「未来展」終了後の掛軸の取り扱いについて	P.11
8.	注意事項	P.12
9.	スケジュール	P.13
10.	ご連絡・お問合せ先	P.14

趣旨

掛軸は日本の絵画・書跡文化の一つの形態として、数百年もの間続いてきました。近世以降は一般庶民のあいだにも広まり、昭和の時代の家庭では床の間に掛軸をかけるのが一般的となっていました。しかし現在では、住宅に和室が少なくなり、床の間もそれ以上に減少しています。気に入った絵や優れた書を複数所持して、季節ごとにかき替えるといったこともほぼ無くなりました。すでに私邸で美術品を鑑賞し、個人が美術品を所有する文化そのものが衰退してしまったとも言えると思います。

表具師は、掛軸をはじめとして、襖・屏風・額・卷子・画帳・手鑑などを製作します。紙に書かれたあらゆる絵画・書跡の表装を手掛け、作品の制作と鑑賞の両方を支えてきました。さらにこれらの物の修復も行って、現代に膨大な文化財を残す一翼を担ってきました。しかし時代の流れで、その仕事量は減少傾向にあります。また一方、手早く安価に掛軸を仕立てられる「化学糊」や「機械表装」という新工法が登場し（これは長期保存に向かないという重大な欠点があることが判っています）、一部の職人や顧客の間に少なからず浸透しているという現状もあります。このように古来の多様な技術や知識の継承が非常に難しくなった、この状況下危機感を持った若手の表具師で結成されたのが『表粋会』です。

現在、掛軸を取り巻く状況は楽観視出来るものではありません。住宅環境の変化や既存の価値観からは逸脱した美術の表現に表具師は十分対応しきれずにはいませんでした。伝統という名のもとに胡坐をかき、それさえ守っていれば安泰であるといつしか思考停止に陥っていました。その間、掛軸を掛ける床の間のある住宅は激減し、日本画家達の作品は軸装から離れパネル等へと移行していったのです。

現状を憂いてばかりではなく、我々表具師の立場から新しい掛軸、これからも掛軸が必用とされる未来のためにと、この展覧会の企画をスタートさせました。掛軸でしかなしえない表現を再発見し、現代的な感性の作家さん達にも、表装されることに面白味や新たな可能性を感じていただき、ぜひ将来的にも掛軸を一つの表現の場として加えて欲しいと考えています。我々も時代に即し、現代に受け入れられる表装を求め、また広く一般に提案して、これからの数百年も残るような掛軸のあり方を模索していこうと考えています。そのような思いを、この展覧会のタイトルにも込めています。皆様がどのような作品を制作して下さるか今から楽しみでなりません。

今回は商業的にも文化的にも日本の中心であり起点である、銀座の地で展覧会を開催する運びとなり、コロナ禍も一段落した中、国内のみならず外国人旅行客の目にもとまる機会もあることと思います。我々の作る掛軸がどのように受け止めてもらえるのか、どのような感想を聞くことが出来るのだろうか。我々も大いに期待しています。皆様の御蔭で、「掛軸と絵画の未来展」も第四回を迎えることが出来ました。少しずつでも未来の光明のある方向へと向かっていけたらと願ってやみません。

企画概要

あなたが、『掛軸にしたいと思う作品』を制作してください。日本画、書、洋画、イラスト、写真、水墨画など、作品の形式は問いません。表粋会所属の表具師が、自らが掛軸に仕立てたいと思う（掛軸の未来を感じる）作品を選び、表具師的感性を以て掛軸に仕立て、展覧会を開催します。

※作品制作にあたっては、後述の注意事項をご確認ください。

※表具師の選に漏れた作品は返送致します。採用(掛軸に仕立てられる)作品数は30点程度を予定しています。

※掛軸へのお仕立てにあたっては、表具師がデザイン・寸法を考案し、使用する布等を選定します。

※応募者多数の場合は、作品提出以前に書類選考をさせていただく場合があります。

江戸表具研究会『表粋会』

設立25年を迎える、主に東京近郊で活躍しているプロの表具師による江戸表具研究会。

会員は現在36名。日々技術の向上を目指し勉強会等行い、表具の技術研鑽・文化振興を目的に活動している表具師集団です。

伝統を継承しながらも現代にあった掛軸文化を創造すべく、作家様と一緒に掛軸の未来に思いをはせる公募展を開催すべく、本企画を立案致しました。

●表粋会ホームページ <https://hyousuikai.org/>

募集作品テーマ

あなたが、『掛軸にしたいと思う作品』を制作してください。日本画、書、洋画、イラスト、写真、水墨画など、作品の形式は問いません。作品の題材、表現、技法等、全て自由です。今の時代に相応しい作品・掛軸が並ぶ展覧会にしたいと考えております。

展覧会名称

「掛軸の未来展 2024 (仮)」

展覧会場・会期

会期 2024年10月22日(火)～27日(日) 11:00～17:00(予定)

会場 銀座大黒屋ギャラリー「6階ギャラリー」(〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目7-6)

応募資格

不問。プロ・アマチュア、問いません。どなたでも応募いただけます。

応募作品

- ・未発表の作品であること
- ・巻ける作品であること（3センチの紙管に巻き入れて作品を提出していただきます）
- ・加湿しても表現が変わらないこと
- ・その他、「作品の要件」についてのページ（P.8）に詳細を記載しております。

応募締切（参加意思をお伝えいただく期日です。この日までに作品を制作いただく必要はありません）

- ・2023年10月31日(火) 23:59

作品提出締切

- ・2024年2月29日

審査

- ・提出いただいた作品を表具師が選考し採否を決定致します。
- ・採用(掛軸に仕立てられる)作品数は30点程度を予定しています。
- ・採用に至らなかった作品は、返却致します。
- ・応募者多数の場合は、10月31日の応募締切後に「0次審査」として書類選考を実施する可能性があります。

出展料

①作品選考料 5,000円

（本企画に応募いただく際に、ご負担いただきます。後述の応募フォームにご登録いただいた方に、11月1日以降、作品選考料のお振込み先をご連絡致します。お振込みが確認でき次第、応募完了となります。応募完了後に応募者様の都合により作品提出を辞退される場合でも、当金額は返金致しません。

なお、応募者多数により、10月31日の応募締切後に「0次審査」として書類選考を実施し、その結果、採用に至らなかった場合は作品選考料はいただきません。）

②正式出展料 5,000円

（2024年2月29日の作品提出締切後に表具師による選考を行い、通過された作品については、選考結果のご連絡の際に、上記金額のお振込み先をご連絡致します。お振込みが確認でき次第、正式出展の受付完了となります。正式出展が決定した作品につきましては、表具師の方で順次、掛軸へのお仕立てを進めてまいります。掛軸へのお仕立てに要する材料費・工賃については、表具師が負担致します。

選に漏れた場合、作品は、2024年3月以降順次ご返送致します。送料は当方で負担いたします。また正式出展料 5,000円をお支払いいただく必要はありません。）

作品の所有権について

掛軸の所有権は、作家と表具師双方にあります。詳細は後述の「『未来展』終了後の掛軸の取り扱いについて」の項をご確認ください。

掛軸の販売

掛軸に仕立てた作品は、「掛軸の未来展」会場にて販売いたします。会期中に購入希望者が現れ、売買が成立した場合、販売金額の中から、作家様に作品料をお支払い致します。作品料については、作品送付時に希望金額をお知らせいただきます。作品料は、上限 10 万円までの中で設定してください。ただし、過去の作品販売価格等と照らし合わせて、10 万以内での価格設定に不都合がある場合は、この限りではありませんのでご相談ください。

表枠会賞(仮称)の選定

「掛軸の未来展」出展作品について、会期中の来場者からの人気投票を行います。最多得票の作品については、「最優秀賞」として、作家に賞金 5 万円、担当表具師に賞金 5 万円を贈呈致します。

作品選考過程について

・2023年10月31日：応募締切（参加意思をお伝えいただく期日です。この日までに作品制作いただく必要はありません）

（11月1日以降、作品選考料のお振込み先をご連絡致します。お振込みが確認でき次第、応募完了となります。）

ただし、想定を超える応募をいただいた場合、「0次審査」として書類選考を実施する可能性があります。その際にご提出いただく書類については、書類選考の実施が決定し次第、改めてご連絡致します。※現時点では、応募の際に提出いただく過去の作品画像をもとに審査させていただき見込みです。

書類選考により採用に至らなかった場合は、作品提出及び作品選考料5,000円のお支払いをいただく必要はありません。書類選考実施の場合は、12月初旬までに可否を判定し、ご連絡いたします。）



【応募者様による作品制作期間】



・2024年2月29日：作品提出締切

※作品の送付先については、後日お知らせいたします。



・2024年3月上旬：表粋会所属の表具師による、作品選定

（応募いただいた作品のうち、どれを掛軸にするか、表具師が熟考の上、決定します。通過された作品については、選考結果のご連絡の際に、正式出展料5,000円のお振込み先をご連絡致します。お振込みが確認でき次第、正式出展の受付完了となり、以降は表具師の方で掛軸へのお仕立てを進めてまいります。

表具師の選に漏れた作品は返送致します。その場合、正式出展料5,000円をお支払いいただく必要はありません。

採用となる作品数は約30点程度を予定しています。選考結果のご連絡は、3月中旬頃を予定しています。）



【表具師による掛軸制作期間】（掛軸の意匠・寸法等については、担当表具師が決定致します。）



・2024年10月22日～27日：『掛軸の未来展』開催

応募方法

応募は、Google フォームよりお願い致します。下記 URL、または QR コードからご登録ください。

(2023 年 9 月 1 日～応募開始)

応募フォーム

<https://forms.gle/8KXnVBC38M2HVggd6>



Google フォームでの応募が難しい場合、また、お問合せ等は下記メールアドレスまでご連絡ください。

■お問合せ先

表幹会メールアドレス： [hyousuikai@gmail.com](mailto:hyou-suikai@gmail.com)

作品の要件

作品が掛軸となるための要件を解説いたします。一般的な要件と、今回の企画に限定された要件が混在しておりますことを、ご了承下さい。

作品

ご自身の作品で、未発表のものに限ります。

作品制作に必要となる紙について、ご希望があれば、掛軸に適した紙を提供致します。支給以外の紙(紙以外も可)を使用しても構いません。ご自身のやりやすい方法で制作してください。その他、画材等に掛かる費用はご負担下さい。

大きさ

推奨サイズは、幅 345mm以内、丈 1360mm以内。

構図やデザイン上、やむを得ない事情がある場合は、幅 545mm×丈 1360mmまでは可とします。

重要事項

作品を巻くことが出来なければ、掛軸に仕立てることが出来ないため、作品提出の際は、3 cmの紙管に作品を巻いて入れていただき、折れが生じたり、絵の具や墨等の剥落がないことをご確認下さい。また、掛軸への仕立てに際し、作品に水分を加えての裏打ちを行います。水分を加えても、作品がにじむことがないよう、後述の注意事項もご確認の上、画材・墨等を選定いただき、作品を制作してください。

※送付いただいた作品については、表粹会にて細部まで検品致します。その際に、掛軸へのお仕立てが難しいと判断した作品については、落選とさせていただきます。

掛軸について

1 作品と掛軸の関係

a 元来は仏画を荘厳に仕立てていたことから始まり、その後唐絵を日本の美感にて装うようになり、時代が下ると絵が多様化して、内容・時代・場に応じた、布の取り合わせ・形式（デザインと寸法）で装うようになりました。表具の形式は、古典的なものが確立されていますが、自由な創作表具も数多く存在しています。



b 作品は作家の芸術表現ですが、その手を離れると鑑賞対象となります。表具師は、依頼者（≒所有者）とやりとりをし、鑑賞者・展示空間に応じた最適な形の提供につとめます。また、作品の格に合う素材を選定し、所有者の作品に対する思い、所有する喜びを満足させる体裁を整えることも重要な仕事です。

本展では、作家の作品への思いのみによって仕立てるわけではなく、表具師側の見識や感性を駆使して仕立てるため、表具師もまた掛軸を自分の作品であると考えていることをご認識いただければと思います。

2 掛軸の構造・製法

a 表側から見える作品（本紙）と織物生地（表装裂）は、2枚～4枚程度の和紙で裏打ちしており、各部分、和紙の特性や厚みを吟味し、一枚の掛軸としてバランスよく下がるように調整しています。上質な和紙の裏打ちにより本紙は補強され、本紙の劣化を防ぎ、巻いて保管することで保護される反面、巻くための本紙への多少の負荷は避けられず、粗雑な扱いによっては折れが生じる可能性もあります。

b 裏打ちは、本紙を十分に湿らせて伸展し、糊付けした和紙を貼り、乾燥させます。裏打ちを重ねる途中段階で、各パーツを裁断して繋ぎ合わせます。2枚目以降の裏打ちでは極めて薄い糊を用いるため、大きな打ち刷毛で裏から叩いて密着させる事もあります。仕上げ段階では裏面に薄く蠟を引き、ガラス玉の数珠で擦るという作業もあります。

軸装可能な作品

1 基底材

本紙に好適なものは、薄絹、画仙紙、唐紙等(原料=禪皮、稻藁、竹)の中国紙、日本の楮紙(美濃紙等)、大瀆紙、雁皮紙(鳥の子 1 号紙等)などで、最も薄漉きの紙。原料として麻が入る紙(麻紙等)は本紙の基底材としては向いていません(元々の麻の繊維が硬いため)。かろうじて越前白麻紙 1 号紙では、条件によっては軸装可能な場合があります。

作品制作に際して、紙を仮裏打ちし、パネルに張りこんだ状態で制作する場合、後々、掛軸用に裏打ちし直す前提で、糊の薄さや紙に留意する必要があります。

紙の漉きかたによっては裏を剥がして薄くすることが出来るもの(上述鳥の子 1 号紙など)もありますが、表面の作品に対して負荷がかかるため、多少の危険を伴うことがあります。

2 作品制作について

作品制作時に用いる技法、材料等は、水分に耐性があり、直径 3cm ぐらいに巻いても、折れや剥落等がないように留意ください。標準的な掛軸は直径 27mm の軸棒に巻いた形で保管します。そのため、作品単独の状態では 3 cm 程度に巻けることが最低条件となります。

推奨する材料は水干、岩絵具(微細な物)、墨、棒絵の具など。かろうじて、アクリル絵具(ガッシュ、水彩)も薄塗りであれば可能ですが、掛軸として出来上がりの形態が安定しない可能性があります。

尚、不向きなものは、染料、水性インク、墨汁、パステルなど定着が弱く、にじみやすいもの。にじみ止めスプレー等で対応できることもありますが一般的には不可です。もし、表現の必要上これらのものを使用した場合は、表具師に必ずその旨お伝えください。掛軸へと仕立てる過程で、繰り返し作品に水分を浸透させることとなります。もちろん細心の注意を払って作業を行っておりますが、通常作業による若干のにじみはご容赦下さい。

3 支給材について

作品制作の際に必要な紙について、ご希望があれば、掛軸に適した紙を提供致します。支給を希望される場合は、応募用紙内の所定の欄にご記入ください。ただし、作品制作にあたり不都合があれば、支給材を使用しなくても構いません。作品の選考にあたり、支給材を使用しているか否かによって優劣をつけることはありません。

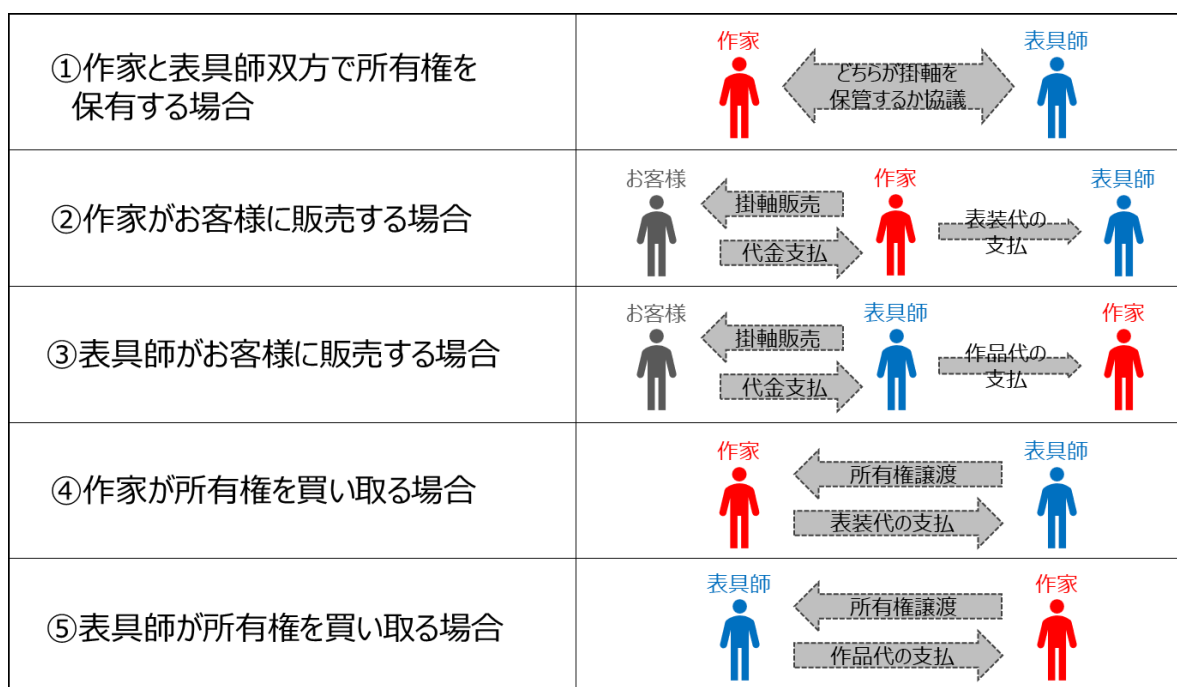
「未来展」終了後の掛軸の取り扱いについて

作品の所有

作品展終了後、掛軸の所有権は、作家と表具師双方にあり、保管は双方の話し合いによって決めます。

作品の販売

作家と表具師、双方に販売する権利があります。作家が販売した場合には、表具師に表装代を支払ってもらい、表具師が販売した場合には作家に作品代をお支払いするという方式です。詳細は以下の図をご参照ください。



過去の同様の作品展での事例紹介

【①作家と表具師双方で所有権を保有する場合】の具体事例

作品展期間中に購入希望者は現われなかった。継続的に購入希望者を探すため、作家の個展開催時には、作家が掛軸を展示し、表具師の表装作品展開催時には、表具師が掛軸を展示する。個展・作品展のない時期は、双方で協議し、より良い保管環境がある表具師の手元に置くことで合意している。

【②作家がお客様に販売する場合】の具体事例

作品展期間中に作家の祖母から、掛軸を購入したいとの希望あり。作家は、祖母から掛軸代を受け取り、その中から表装代を表具師に支払った。

【⑤表具師が所有権を買い取る場合】の具体事例

作品展期間中に購入希望者は現われなかったが、関係者から評価が高かったため、自店舗でサンプル品として飾る目的で掛軸を買い取ることにした。作家に作品代を支払い、所有権を得た。

注意事項

個人情報の取り扱いについて

応募者・作家の個人情報は、本展覧会以外には使用しません。また、表粋会側で適切に管理いたします。本展覧会期間の前後および会期中に、ホームページ・目録・図録等にて氏名、作品タイトル、作品説明を掲載します。ご希望があれば、匿名、ビジネスネーム等での掲載も可能です。

その他、注意事項

第三者の権利（著作権、肖像権など）の侵害及び作品の盗用、模倣した作品は受け付けません。

法令や公序良俗に反する作品は受け付けません。

作品提出後に、応募者・作家の都合により、企画を辞退することはできません。また、出展料の返金も致しません。

作品の取扱いには、細心の注意を払いますが、不可抗力や不測の事態による損傷などにおいては、主催者は一切その責任を負いません。保険が必要な方は各自付保をお願いします。

本展の広報活動（HP掲載、解説、SNS投稿など）のために、主催者が作品の情報を使用する権利を有し、作家はこれを許諾するものとします。

展覧会会場での来場者による作品撮影は可能とします。

災害・感染症の流行、その他の事態により、審査及び展覧会が変更・中止となることがあります。

スケジュール

	2023/9	10	11	12	2024/1	2	3	4-5	6-7	8-9	10
参加者募集期間	→		(応募者多数の場合、書類選考) →								
応募者 作品制作期間			→								
応募者 作品提出期間						→					
表粋会・表具師 作品検品、審査							→				
表粋会・表具師 作品表装作業期間							→				
広報・告知期間 作品展準備期間										→	
掛軸の未来展 2024年10月22日～											→

ご連絡・お問合せ先

hyousuikai@gmail.com 【表粋会 未来展担当：武笠(むかさ)】

お問合せいただいてからご返信まで数日かかる場合がございます。ご了承ください。

- 表粋会ホームページ (<https://hyousuikai.org/>)



- 表粋会 Facebook (<https://www.facebook.com/hyousuikai>)



- 表粋会 X【旧 Twitter】 (<https://twitter.com/hyousuikai>)



- 表粋会 Instagram (<https://www.instagram.com/hyousuikai/?hl=ja>)

